

(報告事項)

第1号報告 平成29年度事業報告

1. 平成29年度事業報告にあたって（全体）

平成22年度以降の経営危機をうけ、平成28年度からは「自立運営」の方針を定め、平成29年度を「**基盤づくり最重要年**」として取り組んだ。

「教育」では、就学希望者がもっとも活用するSNSに着目し、学園の魅力を理解してもらうツールとしてDVD（過去・現在、そして自立・未来へ）を作成し、HP等への活用を図った。「農場」では、干し芋事業の強化、有機農産物の拡大、耕種部門の統一化等を図るとともに、「販売・販路拡大」として、直売所（学園市場）の改修・学園マルシェ等の実施や新規取引先の拡大を目途に販路・販売検討会を実施した。

しかし、学生募集を取り巻く環境は大変厳しく、農場生産収益で前年を上回ったものの、厳しい事業・決算になった。以下、下記のとおり実施内容を報告する。

2. 実施内容

(1) 諸行事の実施

第1回理事会	平成29年	5月	30日
定期総会	平成29年	6月	17日
第2回理事会	平成29年	7月	27日
創立90周年記念事業	平成29年	10月	14日
第3回理事会	平成30年	3月	6日

(2) 教育関係

① 学生の教育内容の充実

教育改善計画（技術習得支援事業）に基づき下記の取組を実施した。

- ・ほしいも事業（生芋）の生産（2.7ha）から加工・販売までの実習。
- ・いも収穫機、播種機などを農場実習。
- ・小松菜のハウス栽培（5棟）での実習。
- ・農研機構の講師を招いて、農業IT化の講義等を新規に実施した。

② 研修生の教育内容の充実

教科（本科・専修科）以外に下記の研修会を実施した。（表4、5、6参照）

- ・農業体験
- ・就農準備校
- ・チャレンジthe農業体験・研修

③ 学生募集の強化

2018年問題・雇用環境等を予見し、学生募集強化のため「教育研究会」を実施し、課題・対策の検討を実施した。その中で、就学希望者の判断基準となる

ネット情報を充実するため、フェースブック作成・学校見学会対応に重点をおくと共に、学園の魅力を発信するためDVDの作成・HPへの掲載を実施した。

しかし、下記のとおり大変厳しい結果になった。

	27年度末	28年度末	29年度末
本科	17名	21名	15名
専修科	10名	10名	7名

④就農支援、卒業後フォロー体制の強化

農業次世代人材投資資金制度を軸に、進路指導を行った。(表8参照)

⑤寮生活の改善

男子浴室の改善、居室のエアコン導入を計画し見積で検討したが、未実施となった。

(3) 農場関係

①契約栽培の強化

小松菜のビニールハウス増棟による契約栽培強化を計画したが、既存の5棟での生産性が上がらず増棟は保留とした。

②付加価値のある生産物の拡大

干し芋を重点品目とし取組を実施した。

*干し芋事業の取組概要：別紙1のとおり

また、年間とおして付加価値のある生産物を生産・販売するため「販路・販売拡大研究会」を実施すると共に、効率化・合理化を図るために耕種部門の統一化を実施した。

③養牛部門の改善

乳牛から肉牛への切り替えをはかった。

	平成29年度末	平成28年度末
肉牛	42	31
乳牛	13	14

④養豚の受託肥育の見直し

鈴木牧場から提供される子豚の罹病率の高さが当初問題であったが、平成28年度より改善が見られ、平成29年度には1237頭/年の受託肥育を行った。

	平成29年度	平成28年度	平成27年度
受託肥育数	1237頭	1231頭	1006頭

⑤直売所運営の見直し

カンバン「学園市場」設置、展示棚の改修・増強、近隣住民向けチラシ配布

や学園マルシェなどを実施し、「学園の顔」としての役割強化・収支改善に努めた。

(4) 機械・施設の維持・改修

自立運営（収支改善）を目途とする基盤づくり重点投資を実施した。重点投資による成果が計画どおり出る様に継続的に進行管理を行う。

*投資実績：「平成29年度施設・機械投資実績」（別紙2のとおり）

(5) 創立90周年記念事業

平成29年10月14日に記念式典を学園内で実施し、県知事・水戸市長を始め165名（内卒業生82名）の出席があった。なお、記念式典では卒業生で天皇杯受賞の3名から報告をいただいた。

また、記念事業にあたり同窓生を中心に191名から寄付金3,710,000円をいただき、趣意書に基づき、①直売所（学園市場）の改修、②DVD（過去・現在、そして自立・未来へ）に活用した。

①直売所（学園市場）の改修：カンバン、陳列棚、エアコン、パソコン等	3,121,000円
②DVD制作・配布	589,000円
合計	3,710,000円

(6) 情報発信力の強化

引き続き、同窓会機関誌の発行、ホームページの充実を実施するとともに、90周年事業で作成したDVD（動画）を学園PR・学生募集を目的にホームページに掲載・発信した。

(7) 資金調達の検討・実施

土地売却計画を理事会で付議し、活用した。

・土地売却内容

売却先：(株)大縄林業

面積：19,967.85㎡

売却益：124,683,156円

<29年度の主な資産活用状況>

収入	土地売却	124,683,156円
主な支出	施設・機械投資	17,137,251円
	運営資金	27,546,223円

3. 29年度計算書類 別添のとおり

以上

附属明細書

表1 科別、学科別の学生数 (単位：人)

		年度初 学生数	退学者		転入学	年度末 学生数	備 考
			病気	その他			
専修科	10月	1	0	0	0	4	
	4月	3	0	0	0	3	
本 科	2年	12	0	3	0	9	
	1年	7	0	3	0	4	
高等科	3年	1	0	0	0	1	
	2年	1	0	0	0	1	
	1年	0	0	0	0	0	
合 計		25	0	6	0	22	

表2 教育実績 (単位：時間)

区 分	必修科目	専門専攻科目	専門選択科目	合計
専 修 科	306	1289	734	2329
本 科2年	352	1173	730	2255
本 科1年	372	1461	377	2288
高等科3年	454	1820	362	2636
高等科2年	504	2082	62	2648

表3 学校行事

行 事 名	対 象	期 日	備 考
入学式	全	4/5	
さなぶり	全	6/2	
富士山登山	本1、高2、専(希)	悪天候中止	
9月卒業式	専(10月入学生)	9/22	
10月入学式	専(10月入学生)	10/2	
収穫祭	全	11/23	
プロジェクト発表会	本2、高3	12/1	
愛宕山強歩	専、本1、高1	2/8	
筑波強歩	専、本1、高1、	3/14	
卒業式	全	3/23	

註：全—全学年、専—専修科、本—本科、高一—高等科

表4 農業体験 (単位：人)

体験の種類	今年度実績	前年度実績	体験学習内容
稲作	1215人	1228人	田植え、稲刈り、脱穀等
野菜	1372	1510	サツマ芋掘り、野菜収穫等
有機野菜	15	0	収穫体験等
果樹	0	0	ブルーベリー摘み等
農産加工	536	461	パン、ジャム、バター作り等
畜産	15	60	乳牛の世話等
甘藷	16	0	
直売所	10	10	商品販売他
合計	3179	3269	

表5 就農準備校 (単位：人)

コース名	今年度実績	前年度実績	備考
農業入門	40	32	3ヶ月(6回)×4回
有機農業	24	40	6ヶ月(12回)×2回
合計	64	72	

「農業入門」は平成27年度から実施。平成26年度は「有機野菜」で実施

表6 チャレンジ the 農業体験・研修 (単位：人)

コース名	今年度実績	前年度実績	備考
短期農業体験	62	77	1週間
中期農業研修	5	7	1ヶ月
農業実践	3	5	3ヶ月
計	70	89	

表7 学生募集

項目	実績数	
学校訪問	(茨城、栃木)	41校
学校見学会	11回	26組36人
新・農業人フェア (主催：リクルートジョブス)	東京(1回)、大阪(1回) 名古屋(1回)	47人
新・農業人フェア in いばらき (主催：茨城県農林振興公社)	水戸(1回)、つくば(1回) 土浦(1回)	12人
農業やってみませんかセミナー (主催：茨城県農林振興公社)	品川(2回)	40人

表8 卒業生の動向

(単位：人)

	卒業 生数	就農	進学又は 継続研修	就職		その他
				農業関連	その他	
専修科	4	2	1	0	0	1
本科	9	8	0	1	0	0
高等科	1	0	1	0	0	0
合計	14	10	2	1	0	1

表9 媒体別入学実績（平成29年度）

(のべ集計。単位：人)

農フェア	農フェア いばらき	学校見学 会	個別見学	チャレンジ 農業体験	資料請求	その他
1	0	3	3	2	5	1

以上

ほしいも事業の取組概要

1. ねらい

かんしょ（主に紅はるか）の生産及び、ほしいも（平干し、丸干し）への加工、販売を行い、将来的に教育および経営を支える柱としたい。

2. 本事業の魅力

- 『日本一のさつまいも学校』として教育の目玉にできる
- 規模拡大の可能性 20ha 以上、売上 1 億円、経営を支える柱になりえる。
- 作業の多くが容易、誰でもできるため、学生、職員全体で取り組める。

3. 初期投資額

4000 万円

4. 所得率の試算（10a 当たり）

2t 収量→400kg のほしいも→1500 円/kg で販売
 売上 60 万円－費用 28.3 万円＝所得 31.7 万円 → 所得率 53%

5. 29 年度の実績

作付面積：2.6ha 収量：52t（大芋 31t、小芋 21t）☆10 a 2t

売上：471 万円 ※2/26 現在 最終予想 549 万円

支出：413 万円

所得：136 万円

☆実際と理論値との差異

- ・種芋としての利用（180 万円）
- ・冷凍保存分（30 万円）
- ・営業用の配布（70 万円）
- ・規格外品の差額（100 万円）
- ・台風による損失、貯蔵芋の腐敗（560 万円） ※

※12月の加工速度が上がらず、低温下で糖化させた芋が加工できなかった。

6. 来シーズンへの改善点

- ・加工、販売の早期化（11月中旬）
- ・貯蔵の工夫（時期、ビニールハウスの併用）
- ・小芋の青果としての販売（加工総量の見極め、貯蔵ロスを最小限にする）

7. 数値目標

	作付面積	売上
30 年度	3ha	1800 万円
31 年度	5ha	3000 万円
32 年度	10ha	4200 万円

平成29年度 施設・機械投資実績

部門	項目	分類	投資金額	リース月額	リース年度末まで	合計
水田	ポンプ取り換え	修繕	458,586			1,141,706
	くんねん器	新規	393,800			
	川本揚水ポンプ	修繕	289,320			
蔬菜	ハウス電源改修	修繕	210,000			210,000
蔬菜Ⅱ	FHバルブ	新規	200,562			347,161
	ハウレン根切り機	新規	146,599			
水耕						
有機野菜						
畜産加工	真空包装機	新規	680,400			680,400
養豚	くんねん器	新規	393,800			2,900,183
	堆肥舎修理	修繕	2,322,000			
	ハウス資材	修繕	184,383			
養牛	ET受精卵	新規	411,852			411,852
果樹						
加工						
直売所	90周年記念改修事業	修繕	3,121,831			3,121,831
甘藷	コンテナ	新規	2,916,864			8,719,444
	軽トラ	新規	870,000			
	乾燥機	新規		64,368	321,840	
	つる刈機	新規	550,000			
	倉庫改修	新規	3,804,000			
	換気扇修理	新規	213,000			
	マルチ剥ぎ機	新規		8,748	43,740	
農機具	GL23修理	修繕	412,605			442,305
	ハンマーモア	修繕		5,940	29,700	
その他	ポテカルゴ	新規		116,964	1,403,568	2,284,200
	コンビシーダー	新規		15,444	185,328	
	管理機	新規		8,640	103,680	
	クボタ新トラクター	新規		53,784	591,624	
合計			17,579,602		2,679,480	20,259,082